2026年、英国でパブ360店が閉鎖の可能性 業界団体が警告

恒久閉鎖は1日約1店に上るとの予測。約5,000人の雇用が危機にさらされ、その多くは25歳未満の労働者が担う

2026年11月15日（日）



英国では2026年にパブ360店が閉鎖し、約5,000人の雇用が危機にさらされる可能性がある。英国ビール・パブ協会（BBPA）の予測は、業界全体で財務的な厳しさが続いていることを示している。

11月14日（土）に公表された業界団体の推計が現実となれば、恒久閉鎖はおよそ1日1店のペースとなる。同協会によると、雇用への影響は若年層に大きく及び、危機にさらされる職の半数以上は現在、25歳未満の人が担っている。

BBPAの統計によると、警告に先立ち、9月末までに英国全土ですでに295店のパブが恒久閉鎖した。このうちイングランドが226店、スコットランドが64店、ウェールズが5店だった。年間の閉鎖数

が360店に達すれば、2025年に記録された純減336店を上回る。

BBPAによると、過去5年間で約2,200店のパブが姿を消し、2025年末時点の英国の店舗数は43,656店となった。同団体が示した360店という数字は予測と業界推計であり、閉鎖が決まった特定の店舗の一覧ではない。それでもこの見通しは、パブ運営者のコスト上昇や、雇用、サプライヤー、地域経済への影響をめぐる懸念を強めている。

パブは長年、ティーンエージャーや学生、若年成人にとって、特に接客職を通じて労働市場に入る足掛かりとなってきた。BBPAの警告は、業界がさらに縮小すれば、労働市場のこの層がまず打撃を受ける可能性を示唆している。報道で引用されたSouth West Londonerは、パブの存続を訴えるGreg Mulholland氏の懸念を取り上げた。同氏は、コスト圧力によって初めて有給の仕事に就こうとする若者の機会が狭まっていると指摘している。

バタシーにあるEagle Ale Houseの経営者Dave Law氏はSouth West Londonerに対し、独立系パブの閉鎖は経営者の生計と住まいを失わせるだけでなく、地元の職人やサプライヤーに回るはずだった支出も減らすと語った。こうした影響は一つの事業所にとどまらず広がり得る。パブは通常、ビール醸造所、酒類卸、食品流通業者、清掃業者、設備保守業者、エンターテイナーから仕入れやサービスを受けている。閉店すれば、その需要の一部も失われる。

飲料業界にとっても重要な問題だ。パブは醸造所、サイダー製造業者、蒸留酒メーカー、ワイン供給業者にとって、特に樽生や店内飲用向け販売の重要な販路であり続けている。パブの数が継続的に減れば、サプライチェーン全体で発注が減り、地元の店舗に依存する小規模生産者や流通業者への圧力が強まる可能性がある。

BBPAのデータが示す地域別の傾向からは、閉鎖が一様に発生しているわけではないことが分かる。イングランドでは、2026年1〜9月の閉鎖数が最も多かったのは南東部で42店だった。北西部が39店で続き、イングランドで最も少なかったのは北東部の11店だった。

同協会によると、パブが恒久閉鎖するたびに、国庫は税収を約£200,000失う。360店が閉鎖すれば、雇用関連税、ビール税、事業用不動産税、法人税、VATを合わせた税収減は約£72 millionに上る計算だ。

BBPAは、運営コストと税制を圧力の主な要因として挙げている。2025年11月の予算案で発表された措置により、パブと醸造所には£322 millionのコストが加わったという。同団体は2027年に始まるパブ向け事業用不動産税の20%減額を歓迎する一方、より広範な改革がなければ不十分だと述べた。

同団体が求めているのは、より公平な事業用不動産税制度の恒久化、ビール税の凍結、樽生ビール向け税軽減措置の拡充、そして雇用コスト、とりわけ若年労働者に関わる負担の見直しだ。また、政府はパブの税収面での貢献だけでなく、社会的・経済的な役割も考慮すべきだと主張している。

BBPAの最高経営責任者Emma McClarkin氏は、地域のパブが閉店した場合の打撃は、その店自体をはるかに超えて広がると述べた。この発言は、運営者がコスト上昇と利益率の低下に直面するなか、業界が繰り返し訴えてきた主張を反映している。パブがなくなれば、損失は雇用や地域での消費、コミュニティの暮らしにも及び、ホスピタリティ業界だけにとどまらない。

この数字は、閉鎖対象として具体的に360店がすでに決まっているという意味ではなく、年末の閉

鎖数は2026年の残り期間の営業状況に左右される。ただ、最新データによれば、業界は9月までにすでに恒久閉鎖を約300店受け入れている。業界幹部は、さらなる支援がなければ、英国のパブ数は2025年を上回るペースで再び減少しかねないと警告している。